

BUILDING MAINTENANCE NEWS

VOL.286

2月号

2013年

愛知

一般社団法人
愛知ビルメンテナンス協会
ABMA

発行・編集 一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報イメージアップ委員会 / E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp URL (アドレス) http://www.aichi-bma.jp
〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-31 栄町ビル6階 TEL 052-972-1451 FAX 052-972-1452

今月の視点

労働災害の防止に向けて

愛知労働局安全課長 塩澤 浩

皆様には、愛知労働局の行政運営に、とりわけ労働安全衛生の確保に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年は、全国的には建設業におけるトンネルの崩壊事故や化学工場での爆発災害など大きな労働災害が発生したところであり、安全の確保の重要性を改めて痛感しました。

愛知労働局では、平成22年、23年と2年連続して死傷災害が増加するという状況の中で、第11次労働災害防止推進計画の目標の達成を目指して、昨年4月に「労働災害の大幅減少のための実施要綱」を定めて、6月の「労働災害防止強調月間」、12月の「死亡災害撲滅月間」などの取り組みを行いました。愛知県下の死亡災害は平成22年は58

人、平成23年は53人と減少し、昨年は50人を下回る状況となりました(12月末時点で43人、対前年同期比-4人、未確定値)。おもな業種別は、製造業が15人(前年同期比+6人)、建設業12人(同±0人)、陸上貨物運送業8人(同-4人)となっています。おもな事故の型別では、墜落が11人(同±0人)、はさまれ・巻き込まれが7人(同±0人)、交通事故7人(-11人)となっています。

一方で、死傷災害は、第11次労働災害防止推進計画の目標達成のためには対前年比で5%以上の減少が必要でしたが、わ

ずかな減少にとどまりました(12月末で、対前年同期比0.9%減少)。

ビルメンテナンス業においては、死亡災害は一昨年に引き続き発生しませんでした。昨年の休業4日以上(12月末)と対前年同期比で22人増加しました。事故の型別では

「転倒」が57人で45%を占め最も多く、次いで「墜落・転落」が31人(24%)となっています。高齢労働者を中心とする転倒災害の防止、高所作業における墜落・転落災害防止が課題となっています。

平成25年度を初年度とする第12次労働災害防止推進5カ年計画については、さらなる労働災害の減少を目指してその内容が検討されていますが、重点業種として災害が増加傾向にある第3次

産業対策、重篤な災害が多発している建設業の墜落・転落災害防止対策、製造業の機械災害対策などにも取り組む方向となっています。

会員の皆様におかれましては、労働災害の防止に向けて、経営トップの決意のもとにリスクアセスメントに取り組むとともに、各事業場の状況に応じた創意工夫した活動を展開して、安全な職場作りに取り組んでいただようお願いいたします。



